

## 平成31年度 全国学力・学習状況調査結果の報告

平成31年4月に6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果がまとまりました。この調査結果を今後の指針として、児童一人ひとりの力を付けることに、引き続き取り組んでまいります。

◇よい状況と考えられる内容

◆指導改善が必要と考えられる内容

### 1 教科学習状況調査結果より

どの教科も全国平均・神奈川県平均より正答率で上回っている。

- <国語> ◇俳句やことわざ、漢字等の言語についての知識や理解が全国平均に比べて高い。  
◇目的に応じて、本や文章全体を捉えて効果的に読む力が高い。  
◆目的や意図に応じて自分の考えや理由を明確にし、まとめて書く力には課題がある。  
◆漢字を文の中で正しく使う力が弱い。
- <算数> ◇示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述する力は全国平均より高い。  
◇示されたひき算に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、使うことができる。  
◆たし算とかけ算の混合した整数と小数の計算をすることができる力に課題がある。  
◆示されたわり算の式の意味の理解が不十分である。

### 2 生活・学習習慣調査結果より

- <生活> ◇将来の夢や目標をもっている児童の割合が全国平均よりも高い。  
◇ものごとを最後までやり遂げて、うれしかった経験をもつ児童が9割近くいる。  
◇人の役に立つ人間になりたいと思う児童が全国平均に比べて多い。
- <国語> ◇多くの児童が国語の学習が大切と感じ、将来社会に出た時に役立つと感じている。また、授業内容も8割近くの児童が「分かる」と答えている。  
◇国語の授業で、学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読みたりするとき活用しようとしている。
- <算数> ◇算数の学習が大切であると8割以上の児童が答え、それを生活の中で活用できないかと考えている。  
◇算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないかと考えている。

### 3 今後の取組 指導・改善が必要と考えられる点の中から、特に、次の点に力を入れて指導します。

- <国語> ・友達と思いや考えを伝え合う機会をさらに増やし、自分の考えをまとめ発信する場を増やします。  
・本にふれあう機会を意図的につくり、読書時間が増えるよう働きかけます。
- <算数> ・スキルアップを目指した時間を取り入れることで、基礎基本の定着を図ります。  
・補足的な支援を行い、全児童が分かるような授業を目指します。